

TBG

TBG Alumni Association News

同窓会報

vol.3

2010.6

東北文化学園大学同窓会

本誌正式タイトル募集

昨年から発行を開始した本誌の正式名称を募集しております。同窓生の近況や大学の様子を垣間見ることができる、本紙に相応しい正式名称を同窓会員の皆様から広く募集いたします。皆様からのご応募お待ちしております。

[応募要項]

- 募集内容／本誌正式タイトル
- 応募方法／応募用2次元バーコードを読み込みご応募いただくか、ハガキ、FAX、e-mailにて以下の内容を明記の上ご応募ください。
 - ①タイトル案 ②タイトルの意味・説明等
 - ③応募者氏名・卒業年度・卒業学部学科 ④電話番号
- 締切日時／平成22年8月31日(火)
- 賞品／応募いただいた方の中から抽選で100名様へ商品券(500円分)進呈
採用された方(1名様)へ商品券(10,000円分)進呈



contents

- 2 学園を振り返る
- 6 平成21年度決算報告
会則改正の必要性について
- 7 平成22年度事業計画・収支予算(案)
- 8 卒業生へのメッセージ
- 10 恩師へのメッセージ
- 11 同窓会活動
役員選出のお知らせ
学園近況
- 12 学園祭出店スタッフ募集
住所未確定者の情報提供のお願い
同窓会費の納入について
あとがきにかえて



東北文化学園大学同窓会

学園を振り返る

vol.2

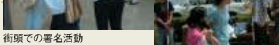
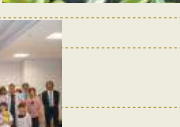
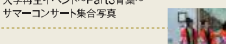
～大学存続を願って～

平成15年に1期生を社会に送り出し、大学院(修士課程)も設置され、実学の拠点としてさらに羽ばたこうとした翌年の1月、元理事長の脱税事件に端を発し大学設立に遡る不祥事が発覚しました。

大学の経営母体である法人の問題とはいえ、大学の存続をも脅かす事態に発展しました。これに対し、在校生で組織する「学生協議会」、大学教職員から成る「全学教職員会議」、在校生保護者の

「扶助会」が、学ぶ場所と機会を守るべく、互いに支えあい、協力しながら活動しました。

今回は、学びの場を守るべく活動された団体の関係者の方に、当時の活動を振り返っていただきました。現在、大学のイベントとして定着した活動もあります。大学の歩みを振り返る上で、目を逸らすのではなく、学びの道を切り開いた同窓生とご家族、先生方の力強さを改めて感じていただきたいと思います。

年	月 日	法人を巡る動き	学生協議会の動き
平成16年	1月20日	堀田正一郎元理事長が脱税容疑で仙台国税局の査察を受ける。	
	1月27日	大学設置認可申請に虚偽記載があったとして、文部科学省が調査。	
	6月1日	全学教職員連絡会議が結成。	
	6月5日	扶助会主催の署名活動を仙台市内の街頭で実施。	
	6月7日		東北文化学園大学学生協議会発起人会を開催。
	6月11日		学生協議会主催の緊急説明会を開催。東北文化学園大学学生協議会が発足。
	6月11日～17日		在校生を対象に署名活動を実施。
	6月18日	街頭での署名活動	文部科学省・宮城県・仙台市に請願書を提出。 学生協議会・全学教職員連絡会議・扶助会の結束会を開催。
	6月25日	法人が教職員及び学生に対して緊急説明会を開催し、藍野グループからの経営支援を受けることを報告。民事再生法の適用を求め東京地裁に申請。	
	6月24日		民事再生法の勉強会及び学生協議会・全学教職員連絡会議・扶助会の合同集会を開催。
平成17年	7月24日		学生協議会・全学教職員会議・扶助会の三者共催で、初の「大学再生イベント～Part1種～」を開催し、再生記念としてバラを植樹。
	8月7日	再生記念としてバラ植樹	三者共催「大学再生イベント～Part2新芽～」を開催。
	8月21日		三者共催「大学再生イベント～Part3青葉～」を開催。
	9月18日		三者共催「大学再生イベント～Part4花～」を開催し、「バラを育てる会」を結成。
	1月8日		三者共催「大学再生イベント～Part5～」を開催。
	3月18日	大学再生イベント～Part3青葉～サマーコンサート集合写真	仙台市内の清掃活動を実施。
平成18年	5月21日		仙台市内の清掃活動を実施。
	6月17日		第1回感謝の日を実施。
	12月19日～22日		三者共催「再生感謝イベント2005冬」を開催。
	6月17日		第2回感謝の日を実施。
	12月9日		再生記念植樹「バラ」の冬種り～2006～を開催。
	12月22日	再生感謝イベント 2005冬	クリスマスイベント～2006～を開催。

東北文化学園大学 全学教職員会議活動の記録 学生協議会活動の記録 (P71～P73) から抜粋掲載



再生記念のバラも立派な花を咲かせるようになりました。

6年前を思い起こして

□ 記念すべき1期生としての思い

自分の将来像を描きながら、希望に胸を膨らませつつ入学式を迎えたことを今でも覚えている。先輩がいらない妙な淋しさはあったが、1期生として大学の歴史の1ページを飾る晴れやかさがあった。

学生生活が始まって間もなく、転校した私を覚えていて、声をかけてくれた小学校時代の同級生がいた。この思わぬ再会で、私は学科やサークルの友人など、多くの出会いを大切にしたいと強く感じるようになった。

□ いつもと違う大学にとまどい…

大学院への進学が決まった矢先に、元理事長の不祥事が発覚した。当初は元理事長個人の問題にすぎないと思っていたが、あっという間に、大学はおかしくなった。大学がいつもと違う状況にあるのを実感した一つは、先生方の研究室が真っ暗なことだった。大学経営が逼迫していたため、公共料金の未払いや教職員の給料の滞りが起こり、少しでも経費を節減するためだと後から知った。

□ 学生協議会による大学存続の活動

当時の学生は大学の現状が分からず、情報が錯綜していたので、事態を見守るほかなかったように思う。この危機的な状況を打開しようと、大学の主人公である学部生や院生の有志が、勉強の場を守り、大学存続を訴えようと立ち上がったのが学生協議会である。発足後、文科省・宮城県・仙台市に在学学生2590名の請願書を提出し、その思いが通じたのか、大学は現在の学校法人から経営支援



大学存続を願う署名活動

□ 大学再生を着実にするために

大学存続・再生のため急ぎよ結成した協議会は、民事再生法の適用期間を終えた20年3月に解散した。前代未聞の出来事の中で

初代 東北文化学園大学学生協議会 代表
(平成16年6月～平成17年3月)
平成15年 大学・保健福祉学科保健福祉専攻卒

石川 千聖 (旧姓 石井)



感じたのは、歴史の浅い大学だからこそ、学生がもっと意見を出し合い、より良い大学にしたいという自覚を持つことが大切だということだった。存続の危機を乗り越えた大学だからこそ、同窓生も陰ながら大学を支え、在学生を盛り上げていけたら良いのではないかなと思う。学校法人には、学生の勉強をする場を二度と失わないようにしていただきたいと、ここであえて強調しておきたい。

□ 後輩の充実したキャンパスライフを支えたい

東北文化学園大学は、多くの方に支えられて再出発をしている。私の学生生活は友人、先生や職員の方、そして学生協議会の活動を理解してくれた市民の皆さんなど、数多くの出会いに恵まれた6年間だった。このことを同窓生の一人として感謝しつつ、大学の更なる発展と、後輩達が充実したキャンパスライフを送れるように願っている。



再生記念植樹「バラ」の冬種り～2006～



平成16年6月6日 河北新報

署名活動の様子を報じた新聞

学園を振り返る

在学生たちへ

第2代 東北文化学園大学学生協議会 代表
(平成17年4月～平成18年3月)
平成15年 大学・リハビリテーション学科理学療法専攻卒

篠崎 麻美



□ 職場では多くの同窓生も活躍中

大学を卒業し、3年が経過した。現在私は、仙南にある総合病院へ就職し、理学療法士として毎日充実した日々を送っている。当院には、東北文化学園大学を卒業した同窓生も多く、急性期から慢性期、そして老人保健施設や通所リハビリ、訪問リハビリなど幅広い分野で活躍している。

□ 市や県、国に必死に訴えた大学存続への想い

今振り返ってみると、大学で過ごした4年間はあっという間であったが、学生協議会での活動は深く私の胸に刻まれている。理学療法士という職業に憧れを抱き、入学した大学で、大学2年の春、元理事長の不祥事は発覚した。この事件を発端に、大学は存続の危機へとみまわれていった。私たちは、いつもと変わらぬ講義を受けながらも、徐々に変わっていく大学の雰囲気不安を隠せずにいた。大学存続を訴えるために立ち上がった学生協議会は、先頭に立ち、学生達へ向けて緊急説明会を開いたり、署名活動を行うなど、学生達の大学存続への想いを市や県そして国へ必死に訴えた。

□ 予想以上の新入生を迎え活気が戻ったキャンパス

平成17年度は、一連の事件以来、初めての新入生を迎えることとなり、再建に向けて新たな希望と目標を持ってスタートを切った一年だった。予想以上に多くの新入生を迎えることができ、キャンパスにはようやく活気と笑顔が戻ってきていた。私が代表を務めた一年間は、仙台市内の清掃活動や再生感謝イベントなど、大学



清掃活動／感謝の気持ちを伝えたく実施した、仙台市内の清掃活動を終えて



一連の事件以来、初めての新入生を迎えた平成17年度の入学式。
予想以上に多くの新入生を迎えることができ、キャンパスにはようやく活気と笑顔が戻ってきていた。

が軌道に乗ってきていることをアピールすると共に、地域の方との交流を通し、感謝の気持ちを伝えることに意を盡した。

□ 人とのつながりや学ぶ喜びを教えてくれた活動

学生協議会での活動は、本学再生のための活動に留まることなく、人と人との繋がりや学ぶことの喜びを教えてくれた大切な活動となった。今、私が理学療法士として日々働いているのも、不安な顔一つ見せずに講義を続けて下さった先生方のお陰である。そして、一体となって活動を続けてくれた仲間にも本当に感謝している。

□ 革新を遂げている学園の卒業生の活躍を願って

私が勤務している病院では、多くの後輩たちが実習に訪れ、そして毎年多くの卒業生が新入職員として新たな一歩を踏み出している。東北文化学園大学は、再生の軌道に乗り、事件を忘れていくほど革新を遂げていると感じているが、今後、東北文化学園大学が多くの歴史を刻み、卒業生が様々な分野で活躍してくれることを切に願う。

忘れまじきこと

医療福祉部長
佐藤 直由



□ 大学が揺れた

平成11年4月の開学から5年、平成16年3月に2期生の卒業を終え、ほっとしたのも束の間、大学は存続の危機に立たされました。学校法人の大学設置認可虚偽申請が明らかとなり、平成16年前半は怒涛のごとく押し寄せた出来事に大学が大きく揺れ、当時の4年生である3期生、大学院修士課程2年生(修士1期生)にとっでは卒業や修了が危ぶまれる事態であったことは記憶に残る出来事であったのではないかと思います。

□ 三位一体で守った学び舎

いま当時を振り返れば、学生も職員も教員も、そして保護者も、何か空をつかむような状況の中で、必死に手をつなぎ、「輝ける者」の学び舎を守ろうとしたことは間違いありません。学生協議会、扶助会(保護者後援の組織)、全校教職員会議の三位一体の下、力を合わせた活動は多くの方々の理解と支援を受けました。そして民事再生法適用による再生法人の経営のもとで、本学の存続と教育の場としての価値を維持することになったのです。

あれから5年を過ぎ、再生は順調に進み、平成22年3月には8期の卒業生を社会に送り出すことができたのです。就職活動をしている学生や企業、法人施設の情報から多くの卒業生がさまざまな職場で活躍していることを知り、平成16年の危機を乗り越えることができて良かったという思いを改めて実感するのです。

□ 語りつぎたい本学への思いや絆

一年一年を経て過去は薄れていきますが、危機に立ち向かった本学への思いや多くの方々との絆を決して忘れてはならないと思うのです。そのためにも同窓生の皆さんの繋がりの中で語りつがれていくことを望みます。あわせて皆さんの益々のご活躍を祈ります。



なお、最後になりましたが、当時の活動の記録が、「東北文化学園大学 全校教職員会議活動の記録・学生協議会活動の記録」(平成21年10月)、「感謝 東北文化学園大学扶助会のあゆみ」(平成21年2月)として発行されていることを申し添えます。

大学存続の危機と意識変化

平成20年 大学・リハビリテーション学科理学療法専攻卒
今野 和美

□ 学ぶ環境への不安

大学存続が危ぶまれてから、約6年が過ぎようとしています。今、振り返ってみると、当時の沢山の経験が現在の自分の仕事に対する意識に大きく影響していると思います。

当時の大学では、物資の不足や教員の無給料問題など問題が山積していましたが、学生の視点から見た大学の雰囲気は、以前と大きな変化はないように感じました。おそらく学生に対する大学側の最大限の配慮があったのだと思います。しかし、大学存続の危機に直面し、これから進む道が見えなくなるかもしれないという恐怖があったのも事実です。将来の職を決意し勉学に励んできた私たちにとって、今後学ぶ環境が保証されていないことへの不安は強くありました。

□ 署名活動で感じた人の温かさ

この事態を打破するために、在学する私たちが学生の意思を示し、行動を起こすことが求められました。そのなかで私たちは、周辺地域での署名活動に参加するなど問題を主体的に捉え、行動に反映しました。地域の方々と触れ合う中で暖かい言葉をかけて頂いたこと、教員の方々の励ましが大きな原動力になったと思います。「困ったときはお互い様」とよく言いますが、人の温かさを感じた経験でした。今でも、教員の方々や大学復興にご尽力頂いた方々に大変感謝しております。

□ 自らが主体となり取り組む精神

この経験を通して、自らが行動を起こす大切さを学びました。物事を客観的に捉えるだけでなく、自らが主体となって取り組むという精神を養いました。考え、正しいと結論付けた道に進み上で、周りの協力を得ながら、若しくは一人でも前進することのできる人間になりたいと思います。今、職場でも、理学療法士として新たに進みたい方向を見つけました。これからも常に向上心を持って、歩んでいきたいと思っています。



平成21年度 決算報告

平成21年度は、事務局体制整備と同窓会活動の再開のため、支出が多く発生いたしました。
平成21年度同窓会会計及び会務について、以下のとおりご報告いたします。
なお、平成21年度会計報告は平成22年5月23日(日)、同窓会理事会において報告され、会員の皆様には、本年10月開催の同窓会総会でご説明いたします。

東北文化学園大学同窓会 決算書 第7期(H21.4.1~H22.3.31)

貸借対照表			(単位：円)			収支計算書			(単位：円)		
分類	科 目	金 額	分類	科 目	金 額	分類	科 目	金 額	分類	科 目	金 額
A.	流動資産	13,880,529	A.	流動負債	2,187,945	A.	同窓会費	2,275,000	A.	事業費	4,095,503
1	普通預金	13,877,139	1	未払金	327,945	1	入会金収入	665,000	1	会報作成費	913,572
2	仮払金	3,390	2	預り金	1,860,000	2	終身会費収入	1,610,000	2	会員名簿作成費	2,920,311
			B.	繰越金	11,692,584	B.	寄付金	0	3	懇談会開催費	57,573
			1	前期繰越金	17,209,799	1	寄付金収入	0	4	周年行事支援費	204,047
			2	当期繰越金	-5,517,215						205,000
		13,880,529			13,880,529	C.	その他収入	5,274	B.	会議費	694,469

補足説明 仮払金：会員情報登録カード返信(受取人払い)のため、金庫にて保管
預り金：平成22年度入学予定者からの入会金



会計監査日 場 会 監 事	平成22年4月30日(金) 東北文化学園大学 高橋 秀典監事
会計監査日 場 会 監 事	平成22年5月14日(金) 東北文化学園大学 志賀野 桂一監事

これからの同窓会活動のために~会則改正の必要性について~

東北文化学園大学同窓会 会長 堀江 裕宗

大学開学から10年以上経過して、大学が開学してから10年以上が経過し、毎年多くの卒業生が巣立っていく中、大学を取り巻く状況は刻々と変化してきました。その変化の中には、私たち同窓会が少なからず影響を受けるものもあります。本会は、平成15年、大学1期生の卒業と同時に短大同窓会と統合して設立されました。しかし、同窓会の事務体制は整っていないため、大学の全面的な支援をいただき、大学事務局へ同窓会業務及び会計処理をお願いしている状況でした。同窓会の専任スタッフを配置する中、本会設立当初に制定した会則は、本会の体制にそぐわない規定を含むものとなってしまいました。会則は、本会の活動の根幹を成すものであり、安易に変えるべきではありませんが、本会の置かれている状況の変化に合わせ、必要な部分の見直しを行うことは、今後、継続して同窓会活動を行うために大切なことと考え、この度、会則の改正要点等をまとめました。本改正案は、平成21年11月から、本会役員による検討を重ね、ここに提案させていただきます。同日は文化学園祭も開催されておりますので、是非母校へ足をお運びくださいますようお願いいたします。右記に、会則改正の主なポイントをまとめました。ご一読いただき、ご意見を賜りますよう、お願いいたします。

会則改正の要点	
1. 大学と本会の関係性を明確にすること 法人格はないが、経活動において事務局所在地の明文化が必要 会費徴収の時期等についても、検討が必要	3. 本会の組織体制を明確にし、役職と権限を定義すること 現在の組織体制における役員の過剰職務の軽減を図るため、必要な役員の追加とその権限の検討が必要
2. 会員の定義を明確にすること 大学院生の本会入会について検討が必要(制定当時、大学院未設置) 入会(資格取得)及び退会(資格喪失)について、検討が必要	4. 本会の収入と支出について、透明性を確保すること 収支予算の策定、会計期間の明記等、会計関連条項の整備が必要

会則改正検討事項(案)		
項 目	現会則関連項	内 容
事務局所在地の明記	なし	現在のところ明記なし。独立した団体として、所在地を明記する必要があるため追加。
会員の構成	第4条	制定当時は大学院が存在していないため現在のところ記載なし。
入会・資格取得	なし	現在のところ明記なし。
退会・資格喪失	なし	現在のところ明記なし。
役員の定数	第5条	各学科専攻、各卒年ごとに役員を選出することを明文化したほうがよいが、現在は「若千名」の表記なので制限なし。
役員の交通費		現在のところ明記なし。実例、交通費の支払は行われている。明記するべきか?
会議の種類	第8条	総会・理事会は別明記の方がよいのでは? また、役員会についての明記は必要?
会費の納入		現在のところ明記なし。
会計	第10条	会計期間の明記。作成標準について明記の必要性の検討が必要。または、会計処理について別に定める旨を明記するなど。
予算の策定		現在のところ明記なし。予算策定の必要性について明記必要?
会計報告	第8条	会議で触れているため、あらためての明記は必要?

平成22年度事業計画及び収支予算(案)について

本会の中期的重点目標に基づき、平成22年度の事業計画及び収支予算(案)を以下のように作成いたしました。本案は、本会理事会において検討を重ねてきたものです。前年実施の事業に加え、会費の徴収業務を再開し、本格的な同窓会活動を行うこととなります。
本案は、平成22年5月23日(日)開催の理事会で審議・決定された後、本年10月開催の同窓会総会で会員の皆様に提案させていただきます。

平成22年度 東北文化学園大学同窓会事業計画(案)

平成22年度 東北文化学園大学同窓会収支予算(案) 第8期(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

東北文化学園大学同窓会における中期的重点目標
1. 同窓会の財政基盤の確立
2. 同窓会の存在と活動を周知するための広報活動の強化
3. 同窓会会員のニーズに沿った同窓会活動の強化
4. 大学、保護者、同窓会の「三位一体」による絆の強化

1. 会報の発行
(1) 同窓会報発行
平成22年6月発行 同窓会費納入について、平成22年度事業計画
平成23年1月発行 平成22年度事業報告

2. 講演会、懇談会等の開催
(1) 地区同窓会の開催
平成22年9月 保護者懇談会と同日開催(南東北、北東北各1地区)

(2) 退職教員講演会
平成23年2月

3. その他本会の目的を達成するために必要な事業
(1) 会費徴収業務
平成22年4月 平成22年度入学生(12期生) 対象(入会金)
平成23年1月~既卒者及び平成23年3月 卒業生(9期生) 対象

(2) 会員サービス業務
入学生向け学園歌CD制作、卒業生向け記念品制作
(3) IT活用による可視化
平成22年8月開設 同窓会Webサイト制作
(4) 保護者懇談会支援
平成22年 9月 会員によるスピーチ
(5) ホームカミングデイ(文化学園祭)
平成22年10月 文化学園祭への参加
(6) 東北文化学園大学のアイデンティティに関するアンケート調査
(7) 大学広報誌との連携
(8) 後輩の就職支援
(9) 広報宣伝

4. 会議及び監査
(1) 理事会
平成22年 5月 平成21年度決算報告、同窓会報、会則改正、総会
平成22年10月 平成22年度半期報告、総会
平成23年 2月 次年度事業計画、次年度予算
(2) 役員会
平成22年 5月 平成21年度決算報告、会則改正、IT活用関連
平成22年 7月 会則改正、IT活用関連、総会
平成22年10月 平成22年度半期報告、総会
平成23年 2月 次年度事業計画、次年度予算
(3) 総会
平成22年10月 総会(会則改正、理事・役員の選任について)

(4) 会計監査
平成22年 平成21年度会計監査(外部監査)

以上

収入の部						(単位：円)
科 目		予算額	前年度予算額	差引増減	摘 要	
A. 会費収入		4,211,000	0	4,211,000		
1	入会金	2,750,000	0	2,750,000	平成22年4月入学者 5,000円*577名*70%＝2,019,500円 平成23年3月卒業者 (平成22年3月18日現在3年次在籍者487名) 5,000円*487名*30%＝730,500円	
2	終身会費	1,461,000	0	1,461,000	平成23年3月卒業者 (平成22年3月18日現在3年次在籍者487名) 10,000円*487名*30%＝1,461,000円	
B. 寄付金収入		0	0	0		
C. その他の収入		4,416	20,201	-15,785		
1	預金利息	4,416	20,201	-15,785	仙台銀行中山支店普通預金	
2	その他	0	0	0		
D. 前期繰越金		11,692,584	17,209,799	-5,517,215	平成21年度決算確定額	
収入計		15,908,000	17,230,000	-1,322,000		

支出の部					(単位：円)				
科 目	予算額	前年度予算額	差引増減		摘 要				
A. 事業費支出	5,178,065	4,065,000	1,113,065						
1 会報作成費	1,893,265	900,000	993,265		平成22年6月、平成23年1月発行				
2 会員名簿作成費	0	2,900,000	-2,900,000						
3 講演会開催費	0	0	0		退職教員講演会				
4 懇談会開催費	209,000	60,000	149,000		2会場(北東北、南東北)で開催				
5 周年行事支援費	0	205,000	-205,000						
6 会費徴収事業費	106,200	0	106,200		(入学予定者向け)入会案内・振込用紙等 (卒業生向け)正会員案内・振込用紙等				
7 会員サービス事業費	449,600	0	449,600		(入学生向け)学園歌CD制作費 (卒業生向け)正会員情報登録カード、卒業記念品制作				
8 ITによる可視化事業費	1,995,000	0	1,995,000		webサイト制作・平成22年度サーバー関連費				
9 保護者懇談会支援事業費	0	0	0		7会場(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島、東京)講演者交通費				
10 文化学園祭出展事業費	125,000	0	125,000		実施内容未確定のため、下期修正予算時に再検討				
11 アイデンティティに関するアンケート事業費	0	0	0						
12 大学広報誌との連携事業費	0	0	0						
13 後輩の就職支援事業費	200,000	0	200,000		就職ガイダンス運営費				
14 広告宣伝費	200,000	0	200,000		@6,000円*4件で試算				
B. 会議費支出	476,490	1,103,170	-626,680						
1 通信費	20,490	53,170	-32,680						
1) 総会	0	1,370	-1,370		会報に同封のため計上なし				
2) 理事会	12,690	12,690	90		開催案内(@80円*9名*3回) 議事要録送付(@390円*9名*3回)				
3) 役員会	7,800	39,200	-31,400						
会議費	0	460,000	-460,000						
2 1) 総会	0	110,000	-110,000		学内開催のため計上なし				
2) 理事会	0	250,000	-250,000		学内開催とする				
3) 役員会	0	100,000	-100,000		学内開催のため計上なし				
3 交通費	250,000	580,000	-330,000						
1) 総会	0	110,000	-110,000		理事会同日開催のため理事会交通費に計上済み				
2) 理事会	240,000	330,000	-90,000		@60,000円*3回				
3) 役員会	10,000	140,000	-130,000		@500円*5人*4回				
4 雑費	6,000	10,000	-4,000		役員会飲み物代他				
5 監査費	200,000	0	200,000		平成21年度外部監査料				
C. 事業費支出	3,180,000	3,238,240	-58,240						
1 消耗品費	160,000	260,000	-100,000		ICレコーダー、事務局ファイル他				
2 通信・通費	6,000	5,000	1,000		切手代他				
3 印刷費	0	40,000	-40,000						
4 旅費・交通費	0	50,000	-50,000						
5 研修費	50,000	100,000	-50,000		同窓会運営に関するセミナー参加費、等				
6 人材派遣費	2,900,000	2,703,000	197,000						
7 雑費	50,000	29,000	21,000						
8 振込手数料	14,000	30,240	-16,240						
9 その他事務費	0	21,000	-21,000						
D. その他支出	0	0	0						
当期支出計	8,834,565	8,406,410	428,145						
E. 予備費	7,073,445	8,823,590	-1,750,145						
支 出 合 計	15,908,000	17,230,000	-1,322,000						

退職された恩師から卒業生へのメッセージ

学生時代にお世話になった先生が定年退職を迎えられました。

今後は同窓会等のイベントで再会できると思います。退職にあたり、同窓会員の皆さんへメッセージをいただきました。

おひとりさまが好き でも一人で 生きてはいない

医療福祉学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻
森山 早苗 先生



一在職10年、500人を超える専攻卒業生

東北文化学園大学を定年退職し、48年間の職業生活から開放されて第二の人生を迎えました。定年の経験は10年前にもありましたが、その時は東北大学付属病院鳴子分院に勤務（1980年～1993年）していただござ縁もあって本学に赴任いたしました。臨床とは違う教育現場に戸惑いながら在職10年、この間に作業療法学専攻卒業生500人以上を送り出しました。

一臨床時代とは一味ちがう教員冥利

作業療法士を目指し入学したのに、中には人との対話が不得手で適性がないのではないかと苦しみ、挫折する学生もいました。このような学生たちに、仕事内容を本当に理解させ、ひと相手の職業で感じる喜びを伝えるのは難しい。それでも、2年次の臨床実習を経験すると、授業で学ぶ知識・技術、コミュニケーション能力が如何に大切であるかに気づき、真剣に学ぶ姿勢が出て学習態度も変わってきます。4年生の見違えるように成長した姿をみると、臨床時代とは一味違う教員冥利の喜びを感じたものです！

一4月からは非常勤にて

仕事人間を自負、退職後に何もしない暮らしなど考えられません。心身健康維持のためにとのご配慮で、

4月から2科目の授業を非常勤することになりました。からくも社会とつながったのを実感、一人で生きてるんじゃないのだと。

一そこで、卒業生へのメッセージ。

「手を振ってるんじゃない 溺れてるんだ」というある英国詩人の代表作、「誰にも聞こえなかった あなたの声は」で始まる短い詩。たとえばこんな情景だ。わたしは岸辺で海を見ている。と、遠く波間で手を振るひとがいる。そこでわたしは、波間のひとに手を振り返す。そしてやがて波間のひとのことは忘れて、砂浜の貝を拾いだすかもしれないし、ボットから注いだ紅茶を飲むかもしれない。そうして……。しばらくの後、わたしは知らされるのだ。波間で手を振っているかのように見えたとはいえ、実は、溺れて助けを求めているのだ、と。助けることができなくなって、から。……さて。 同じようなことが日々、わたしたちの社会で、身近で起きているのか。あなたやわたしの近くでいま、「手を振っているひと」はいないか？ 手を振り返すことが、わたしたちの返事でいいのか。

以上、「手を振るひとに」（落合恵子・朝日新聞2010年1月23日）の抜粋です。真の共感、人となることができるの大切さを感じていただけたら幸いです。

苦しい時には よい話し相手 相談相手が必要

医療福祉学部保健福祉学科
中川 英一 先生



東北文化学園大学を卒業された皆さん、お久しぶりです。お元気にお過ごしでしょうか。大学が創設されて今年3月でもう11年目を終え、4月からは12年目に入ります。第1期生はすでに30歳近くになっておいででしょう。責任ある社会人としてご活躍のことと思います。

一魅力ある大学にしていくなための改革

東北文化学園大学もこの少子化の時代にあって魅力ある大学にしていくなために改革を進めています。とくに医療福祉学部においては学科、専攻の増設を行っています。20年度にはリハビリテーション学科に言語聴覚学専攻、視覚機能学専攻が加えられ、本年度からは医療福祉学部看護学科が新設されました。したがって医療福祉学部はリハビリテーション学科、保健福祉学科、看護学科の3学科から成ることになりました。

私ごとですが、私は東北文化学園大学には設立準備期から関わり、開学後11年間勤務してこの3月で定年退職しました。今は横浜に戻ってゆっくりと暮らしています。しかし、やっと仙台の寒さから逃れられるかと思っておりましたが、今年はあいにくの天候不順で横浜でも4月に雪の降るありさです。やはり地球温

暖化による異常気象の一環なのでしょう。

一苦しい時にはよい話し相手・相談相手が必要

さて昨今のわが国は経済をはじめとしさまざまな困難に遭遇しています。世界同時不況による影響からいまだに立ち直れずにいます。幸えて暮らしておられる方も多いでしょうが、卒業生の皆さまのなかにもリストラや非正規の不安定雇用で苦勞されている方がおいでではないかと心配しております。苦しい時にはよい話し相手、相談相手の存在が必要です。大学時代の親友に会うのもよいでしょう。よい友達をつくってください。職場では頼られる人材になるよう励んでください。幸せな結婚、幸せな家庭もまた人生に色を添えます。すでに結婚された方もおいででしょうが、まだの方には将来よい伴侶にめぐり合えるよう祈っております。最後に皆さんのご健康、ご多幸を祈願して筆をおきます。

生き活きて今 そして これから

科学技術学部人間環境デザイン学科
鹿戸 明 先生



鹿戸です。教職員の皆様そして卒業生のみならず、お元気で御活躍のことと思います。在職中は本当にお世話になり、またご迷惑もおかけしました。

一教育支援者として、またタウンウォッチャーとして

小生は今、ようやく前期高齢者一年生を終え、ゆとりとした日常ベースを確保しております。そのひとつは、高等教育支援者として2・3の大学に奉仕し、またひとつは、自称「タウンウォッチャー」として、生活市民の立場から、まちづくりや都市行政への知見・構想計画を練っております。（笑い）

日々、一万歩近くを歩いてさまざまな場所、いろいろな人に見聞きさせていただく中で、住民はもっともっと不平・不満(?)を持つべき、出すべきだと感じております。遠慮や平静の底を流れる「取り乱すほど悔しがる、怒りたくなる」水音に耳を傾けなければ発見はない、ということでしょうか。

一ヒト～モノ～コト関係をベースの実学を

顧みますと、卒業生のみさんには担当科目を通じて、実学の方法として居住者のニーズの収集・発見とその空間としてのとりまとめ方をお伝えしてきたと思います。…なあ～んちゃって、つい講義調になってしまったついでに…

今の仕事社会では、ヒトにとらわれ過ぎて本当のモノやコトが結構見落とされているのでは、という印象が強くなったことです。仕事への情熱がいつのまにか競争相手の同様の情熱を冷ます、果ては他人をつぶす。おかげさに云えば生き方の機会＝チャンスを奪う、ということでしょうか。競争の負の側面です。（＾＾）

さて、小生が皆さんとともに在籍した学科は当初、全国で数少ない建築・設備・環境を総合したユニークな学科として出発しました。それから20年を経た今、学科はヒト～モノ～コトの関係をベースにした理工系の人間環境、健康環境へ展開していると伺っております。

ここに、短大・大学の創設に関わった1人として、学園のいっそうの発展とともに、卒業生をはじめとする皆様の、暮らしの礎の多い充実した人生をご祈念申し上げます。

石は億万年のあいだ黙って暮らしつつた
その間に空は晴れた！曇ったりした（ん？）

注：写真は、短大時代の皆さんになじみ深いであろう、??年前のものです

教員時代の思い出、 そして皆さんへの アドバイス

科学技術学部知能情報システム学科
香野 俊一 先生



一短大・4大でてんでこ舞いの平成11年

この3月末で退職いたしました。本学では平成5年から、東北科学技術短期大学に7年、東北文化学園大学に11年、合わせて17年の教員生活でした。数が合わない？ そうです、平成11年度は、短大最終となる第6期の2年生と4大の新入生が同居していたからです。その年、私は短大の「情報工学科」そして4大の「応用情報工学科」双方の学科長を併せつかっており、てんでこ舞いの毎日だったことが思い出されます。

一忘れられないエピソード

短大、4大を通して、忘れられない印象深いエピソードがいくつかあります。そのひとつ、短大時代、在学中に結婚して赤ちゃんが出来た女子学生は、お母さん役と学生生活を両立させるため、大学のすぐそばのアパートに引っ越してきて、授業があるときはお姉さんに赤ちゃんの面倒を見てもらっていました。卒研では赤ちゃんの泣き声の音響分析をテーマとし、卒業祝賀会には、赤ちゃんを連れて夫婦で参加していたのはほほえましい思い出です。また4大においても、卒業式に大きくなったおなかで参列した卒研生がいました。卒研のゼミ中に「昨日、籍を入れてきました」との報告を受けましたが、その時それを聞いていた男子学生が、「俺も先退籍を入れました」との告白があり、卒研生一同、笑いの中で祝福しました。その後1年を過ぎてから、お母さんになってかわい

い赤ちゃんを連れて研究室に挨拶にきましたが、これから働くために子供を保育園に預け、今は資格を取る勉強をしているとのこと、頑張っ！ と声援を送りました。

一また大学で会いましょう

さて、卒業生の諸氏諸嬢にひとつだけアドバイスを贈りたいと思います。「マニュアル通りに気をつけよう」です。私はある自治体で騒音に関わる委員会の委員をしています。そこに提出された騒音レベル予測の報告書の中に、音源と受音点間の距離を53.658m、騒音レベルを57.325dBと書いてあるのがありました。報告書を書いたコンサルタントの方は恐らくマニュアル通りに計算したものだと思いますが、小数点以下の桁数の無駄に考えが及ばなかったのでしょうか。また、店に入ったときに、顔を見ることもなく「いらっしゃいませ」との声を聞くことが多いのごです。マニュアル通りにやっで安心するのではなく、そこには書かれていない常識的なこと、またマニュアルの真に意図していることを読取る努力を惜しまないでください。

ところで、退職はしましたが、客員教授として、また非常勤講師として大学に行くことが多い毎日です。皆さんとはまた大学で会いましょう。来られるときには連絡ください。

アドレスは skono@gold.ocn.ne.jp です。

注：写真は54年開校しているヨコヅナ建設で、国体にも警務で参戦した折に撮ったものです。

同窓会の皆さんへ

総合政策学部総合政策学科

山崎 恭平 先生



一皆さんとともに学んだ新しい大学

同窓会の皆さん、お元気ですか。日本経済は厳しい状況が続いていますが、皆さんはそれぞれの職場やお立場で活躍されていることと思います。

東北文化学園大学は開学以来11年を経過し、この3月には第8期の卒業生を社会に送り出すことができました。私は開学と同時に総合政策学部の常勤教員に迎えられ、この3月に定年退職を迎えました。その間皆さんとともに新しい大学で学んでまいりましたので、大変感慨深いものがあります。

一評価されている理念や教育内容

思えば、開学におけるいわば生みの苦しみのほかに不祥事が加わり、順風とはいかない面がありました。でも、皆さんや教職員の学び舎を守る強い意思によって大学が存続し、地域社会に受け入れられ評価されていることは、誠に喜ばしい限りです。これは、何よりも開学の理念や教育の内容が時代の要請に迫っていたものといえましょう。

一先見の明があったアジア重視

私の担当分野のケースでいえば、総合政策学部のカリキュラムの中で、ひとつの特徴としてアジア重視の方向を打ち出していたことが、東北の大学としては

先見の明があったと思います。日本の貿易や企業の実活動、私たちの生活の中で、中国をはじめ韓国、台湾地域の北東アジア、タイやマレーシアといった東南アジア、さらにはインド等南アジアの国々との関係が極めて身近なものになりました。そうした折に、外国とのコミュニケーション手段で英語のほかに中国語と韓国語のアジア語を履修する機会を提供してきたこと、アジアを多面的に学ぶ地域研究を重視してきた教育は、日本全体だけでなく東北地方にとっても生きてくる時代になってきました。

一同窓生や仲間には生涯の宝物

アジアの勉強は、医療福祉や科学技術学部の学生あるいは他大学の学生にも開放されてきました。これ以外にも総合政策学という幅広いものの見方、実学重視や地域貢献で大学で学んできた成果は、これから必ずや出てくると確信しています。そして、大学時代の同窓生や仲間たちも何よりもの宝物になるでしょう。皆さんの活躍と同窓会の発展を心から祈念しております。

✉ 恩師へのメッセージ

背広を着たテキ屋さん

平成16年 大学・総合政策学科卒業
たかた介護食品科学経営

荒木 輝臣



「背広を着たテキ屋さん」とは、山崎恭平先生の自己紹介代わりのキャッチコピーです。その由来は、JETRO等で調整などの実務の裏方を担当されてきたことを、緑日を裏で取り仕切るテキ屋さんに見立てたことにあります。程やかで真面目なイメージの先生とは対極的な如何わしさを覚えるその言葉に一瞬ですが身構えたことを思い出します。

私が在籍していた間は講義や主宰されたセミナーでお世話になり、卒業後も研究室にお邪魔するなかで、少しずつその意味を理解してゆくことになりました。アジア経済と日本への関わりを理解を深めると同時に、経済用語を指定された文字数で説明、1分間スピーチ等の卒業後の実利に結びつく指導。学生部長を務められた際には、多くの学生に分け隔てのないご指導や

学内での調整で、縁の下力持ちとして手腕を発揮されたといえます。講義やゼミ活動の合間に話される海外での経験談も魅力的でした。お仕事でのご活躍はもちろんのこと、イギリスでフーリガンの襲撃に遭ったことや、インドの路店で売られていた紅茶の淹れ方など、非日常的の体験を身近に感じさせるお話の数々。

こうして、気さくで情熱的な一面に触れる機会が増えてゆきました。先日、本学で行われ、私も聴講した退職記念講演では、アジアの多様性や経済を中心に、今後のご活動もお話しされました。先生の専攻分野である、インド経済研究はさらなる深化を遂げられ、現在の最先端になっていました。"sustainable development"、つまり、「持続可能な発展」を体现され、学び続けることの愉しさを受講者に伝える90分間でした。これほど贅沢な時間が共有できたことを光栄に思います。本当にありがとうございました。

私事ですが、起業した際、先生の教唆である「持続可能な成長」を念頭におきました。今後も、着実な成長を目指してゆく所存であります。

最後に、山崎先生の今後の多方面におけるご活躍を心からお祈り申し上げます。

定年退職された先生方（平成20年度・平成21年度）

田中 剛作 平成21.3.31 リハビリテーション学科	齋藤 恒雄 平成22.3.31 健康社会システム研究科	香野 俊一 平成22.3.31 知能情報システム学科
権 度容 平成21.3.31 保健福祉学科	柴田 明徳 平成22.3.31 健康社会システム研究科	鈴木 祥介 平成22.3.31 知能情報システム学科
中川 英一 平成21.3.31 保健福祉学科	長崎 浩 平成22.3.31 健康社会システム研究科	谷口 正成 平成22.3.31 知能情報システム学科
山川 英明 平成21.3.31 総合政策学科	森山 早苗 平成22.3.31 リハビリテーション学科	
鹿戸 明 平成21.3.31 人間環境デザイン学科	山崎 恭平 平成22.3.31 総合政策学科	

※年度・学科・五十音順に記載、敬称略

同窓会活動

2010年8月2日に同窓会ホームページが開設されます。

東北文化学園大学同窓会は、2003年3月に東北科学技術短期大学同窓会と統合し設立以来、5,000名を超える卒業生を会員として迎え、今日に至っています。昨年、東北文化学園大学が開学10周年を迎えたことを期して、ホームページを開設します。

今後右記のサイトにて、同窓生への情報提供を行っていきます。よろしく願います。

東北文化学園大学同窓会 会長 堀江 裕崇



<http://www.tbgu-alumni.jp/>

同窓会総会開催のお知らせ

来たる平成22年10月24日（日）、同窓会総会を開催いたします。今回の総会は、昨年の事業報告のほか、今年度事業計画（案）、同窓会役員選出、同窓会会則改正（案）といった、同窓会に関する重要事項が議題

となります。是非会員の皆様の出席をお願いいたします。また、今回の同窓会総会は、文化学園祭と同日、学園内で開催いたします。1年に一度、盛り上がりを見せる文化学園祭と合わせて、是非大学にお越しください。

同窓会総会

開催日 平成22年
10月24日（日）
場所 学園内で開催

※詳しくは、8月以降上記HPにてご案内いたします。

同窓会役員選出のお知らせ

より多くの会員の皆様へ同窓会活動に関わっていただくため、大学にご協力いただき、平成21年度卒業生（平成22年3月卒）から、各学科若干名の幹事をご推薦いただきました。平成22年5月23日（日）開催の同窓会理事会で協議の上、幹事への着任を依頼いたしましたのでここにご報告いたします。

- 任期 平成22年4月1日から平成25年3月31日
- 選出役員の任務等（同窓会会則 抜粋）
 - ・任期 3年
 - ・任務 会員相互の連絡調整にあたる
 - ・報酬 無報酬

学科専攻	氏 名		
リハビリテーション学科 理学療法専攻	鈴木 博人	長尾 裕紀	
リハビリテーション学科 作業療法専攻	相羽奈緒子	上條 理恵	
保健福祉学科	藤原 美帆	前田 珠里	
総合政策学科	宮舘 佳奈	千葉 裕太	伊藤 裕太
コンピュータサイエンス学科	横山 広大		
住環境デザイン学科	後藤 豊央	盛田 賢雅	吉田 恵

学園近況

晴れの日を迎えて ～学位記授与式、入学式挙行～

平成22年3月18日、大学8期生の学位記授与式が挙行されました。当日は、風が強かったものの晴天に恵まれ、3学部5学科の卒業生497名が慶びの日を迎えました。学友と喜びを分かち合い、恩師と共に写真に収まる盛装の卒業生は、この日を迎えた喜びの中にも、別れを迎える淋しさを感じているようでした。

同日、大学のご協力のもと、卒業後の連絡先をご提供い

ただく案内を行い、8期生の皆さんを本会正会員として迎えることができました。今後は、学び舎を同じくする同胞として本会の力となってくれると思います。同窓会活動へ積極的にご協力いただくと幸いです。

大学8期生の学位記授与式



また、平成22年4月7日には、大学12期生の入学式が行われました。新設された看護学科を含む3学部6学科へ、577名が入学しました。初めて顔を合わせた新入生は、心持ち緊張した面持ちで入学式に臨んでいました。

本会では、入学祝いとして、学園歌「輝ける者」のCDを製作し、本会学生会員となった新入生に贈りました。本会会員の皆さんと同じように、国見のキャンパスで多くの師に学び、かけがえのない学友と出会い、想い出深い学生生活を送られる様子を見守っていきたいと思います。

大学12期生の入学式



学園祭 出店スタッフ 募集

平成22年度 文化学園祭

開催日

平成22年
10月23日(土)
24日(日)

場 所

東北文化学園大学
(仙台市青葉区国見)

毎年恒例の文化学園祭。今年は平成22年10月23日、24日の両日開催されます。

例年、多くの会員が文化学園祭へ足を運んで下さっています。友人と再会したり、後輩を激励したり、お世話になった先生を訪ねたり…思い出のキャンパスで思い出に大学生生活を振り返る姿が目につきます。

今年は、より多くの同窓生へ学園祭を楽しんでいただきたく、同窓会として文化学園祭への出店を計画しています。学生時代、学園祭で盛り上がった方も、出店したかったけど実現できなかった方も、お友達と屋台をやってみませんか？

具体的な計画は、会員の有志の皆さんと一緒に同窓会事務局が行います。文化学園祭当日、大学へお越しいただける同窓生の方なら、どなたでも結構です。

詳しい内容は、8月開設予定の同窓会Webサイトでご確認ください。会員の皆様のご参加をお待ちしています。



昨年度
文化学園祭の様子

住所未確定者の情報をお寄せください

本会では、平成21年7月及び10月に、卒業生の皆様へ名簿整備のお願いを送付させていただきましたが、住所の確認が取れず、ご案内ができていない方がいらっしゃいます。同封の「住所未確定者一覧」の方について、連絡先の判る方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までお知らせください。同窓会Webサイトからお知らせいただくことも可能です。

同窓会費の納入について

本会は、昨年から活動を再開し、基盤強化を行って参りました。これに合わせ、停止していた同窓会費の徴収を再開させていただきますので、会員の皆様には、是非ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。未納の方につきましては、同封の振込依頼書でお振り込みください。会費の納入方法等につきましては、同窓会事務局にお問合せいただくか、同窓会Webサイトでご確認くださいようお願いいたします。

〈問合せ〉東北文化学園大学同窓会事務局 TEL.022-233-6194



あとかぎにかえて

先日、同窓会理事会のために久しぶりに大学へ行ってきました。懐かしさと同時に、綺麗だった建物に傷や汚れがあることに驚きましたが、思えば卒業してからもう8年もたっており、あらためて月日の移り変わりや大学の歴史が積み重ねられていることを実感しました。

今振り返ってみると、私の大学生活は充実した4年間で、学園祭の実行委員や、サークル活動、国家試験の日に受験票を忘れたこと等…思い出を上げればきりがありません。

そんな私も一児の母となり、現在は、やんちゃで甘えん坊の1歳4ヶ月になる息子の子育てに奮闘中です。大変な事も

多い子育てですが、息子の笑顔に癒される毎日です。

さて、同窓会としては活動の1つとして、ホームページ制作に取り組んでおり、8月運用を目指し準備を進めているところです。ホームページを活用することにより、皆さんに同窓会の存在を知って頂き、同窓生同士や、在校生との橋渡しの役割ができればと思っています。

同窓会の活動を知る入り口として、気軽に活用して頂きたいと思っています。

沢山の友達や先生方との出会いは、私にとってかけがえのない財産です。

あの頃のように、また皆で会いたいですね。



平成15年 大学・保健福祉学科保健福祉専攻卒
同窓会幹事 佐々木 淑恵 (旧姓 菅野)